

# 雇用者を活用した経営の発展を目指して

## ～青年農業者等スキルアップ研修の開催～

### 1 活動のねらい

千葉地域では新規参入の就農者が多いことから、新規就農者の経営において課題となる労働力の確保について、知識・技術の習得を図るため、雇用をテーマに青年農業者等スキルアップ研修を開催しました。

様々な方法で雇用を導入している農業経営を視察し、雇用の導入や労務管理の実践事例を学ぶとともに、雇用に必要な知識を習得するための講義や、受講者相互の情報交換を行い、新規就農者の経営管理能力の向上を図りました。

### 2 課題の背景

千葉地域の新規就農者の多くは、就農直後から経営管理を担い、農地・機械の確保や技術の習得などの様々な課題への対応を迫られています。さらに、生産から出荷まで少人数で行っている場合も多いため、労働力の確保が課題となっています。

また、労働力を確保するためには、雇用に関する法律や、雇用募集の方法、従業員との接し方など、幅広い知識・技術が必要となっています。

### 3 普及活動の経過・結果

#### (1) 専門家と連携した知識の習得

雇用に関する法律の知識が不足したまま雇用を導入すると、法律違反や未払い賃金の請求などのリスクがあるため、「雇用の導入に向けた経営の体制整備について」をテーマに、専門家である社会保険労務士を招いて講義を行いました。

「労働時間の考え方」「雇用契約書の作成」「有給休暇の付与」などの基本的な内容を取り上げ、具体的な事例もふまえて説明することで、これから雇用を導入する新規就農者にも理解しやすいように工夫しました。

受講者からは、「従業員に訴えられるリスクから身を守るにはどうしたら良いか?」「移動時間は労働時間に含まれるのか?」など様々な質問が出て、自身の経営に役立てようとする姿勢が見られました。



写真1 社会保険労務士による講義

## (2) 実践事例から学ぶ

労働力を確保する様々な方法について理解を深めるため、「常時雇用」「農業ボランティア」「特定技能制度の外国人」「農福連携」などの事例を視察しました。

また、新規参入した受講者に経営発展のイメージを持ってもらうため、新規参入後に雇用によって規模拡大した事例も取り上げました。

受講者からは、「雇用を導入したのは、規模拡大の前か、後か?」「就農前の研修で役立ったことは何か?」など様々な質問が出て、雇用の活用方法に限らず、農業経営に対する考え方についても学ぶことができました。また、受講者が視察先の農業者へ今後も相談できる関係づくりにもつながりました。



写真2 従業員による作業の状況を視察

## 4 今後の課題

令和3年度から2年間、農業経営体育成セミナー修了者と新規参入者を対象に、経営方針の策定方法や雇用の活用に関する知識の習得、事例視察、意見交換を行ってきました。

出席した受講者からは、自身の経営に役立ったという意見が多く、品目を超えて販売方法などについて意見交換が行われ、小さなネットワークができています。

千葉地域を担う新規就農者の経営確立に向けて、知識・技術を習得するための研修を引き続き開催するとともに、新規就農者相互の関係強化につなげていきます。

- 5 担当者 千葉・習志野グループ ◎柏崎 佑二  
市原グループ 戸谷 智明  
八千代グループ 武田 藍

- 6 協力機関 千葉地域農林業振興普及協議会